



鳥 議 第 2 8 7 号  
令和元年 10 月 2 日

鳥羽市長 中 村 欣一郎 様

鳥羽市議会議長 木 下 順 一



予算決算常任委員長 浜 口 一 利



### 予算決算常任委員会（9月会議）の議員討議における提言書

去る9月会議において、平成30年度鳥羽市一般会計及び各特別会計並びに企業会計の決算審査を行いました。

昨年に引き続き課ごとに決算成果説明書を基本に審査するとともに、これまでと同様に、決算審査後に議員間討議を実施し、各委員からの提案、意見は21項目ありました。

この21項目のうち18項目の意見等については、予算決算常任委員長報告において述べたところでありますが、特に各課の取り組みについては高く評価できるものが多くあり、今後においても期待するところであります。

このような中で、様々な分野における意見等の中から、今後の更なる進展を願い、市議会として以下の3点について提言いたします。

1. 鳥羽への移住・定住応援事業について、定住応援事業奨励金の次年度以降への継続とともに、年齢制限など利用条件の緩和及び奨励金のあり方を検討し、更なる利用及び定住の促進に結び付けられたい。
2. 地域共生社会の実現を目指し、集落支援員制度の全庁的かつ積極的な活用に努められたい。
3. 市内においては、今後更なる空き家の増加が見込まれることから、空き家改修補助制度の見直しも含めた空き家活用の方策を探求するとともに、市営住宅の空室対策として、入居希望者募集時の要件緩和など制度の見直しを検討し、人口減対策に結びつけられたい。